第2圖ハ第1圖ノ一部ヲ更ニ強擴大撮影シテ果糖含有細胞ノ分布ヲ一層明瞭ナラシメシモノナリ。

之ヲ要スルニけんぽなし花序中ニ含有セラルヽ果糖ハ或ル一定ノ組織ニ於テノミ含有セラル。即チ上皮直下ノ實體組織中及ビ脈管束ヲ中心トシテ放射狀ニ發達ス。而シテ之ノ檢出ニハ Seliwanoff 氏試藥ヲ以テ染色スルコトニヨリテ容易ニ觀察シ得ベシ。

本校生化學教授藤井暢三氏、植物學教室教授久內清孝氏ノ御懇篤ナル御助言ニ對シ、又植物學講師幾瀨マサ女史ガ材料ノ採集並ビニ切片ノ調製ニ大イニ助力セラレシ事ニ對シ茲ニ深甚ノ感謝ヲ捧グ。

（於帝國女子醫學藥學專門學校化學教室）

引用文獻

1) 額田　敏:　藥學雜誌　第60卷、第12號 (1940).
2) R.H.A. Plimmer:　Organic and Biochemistry, 6th. Ed. 266–267 (1938).
3) William Chase Stevens:　Plant Anatomy, 4th. Ed. 352 (1924).
藤井暢三:　生化學實驗法　定性篇、61.
4) Hans Molisch:　Mikrochemie der Pflanze, 3. Aufl. 134 (1923).
5) 額田　敏:　植物研究雜誌　第16卷、第7號 436–442 (1940).

雜　錄　Miscellaneous

○日本植物新産地報知（其四）　林（加藤）彌榮

Y. Hayashi:　Narratio Zonae Novae Plantarum Japonicarum (IV).

53) **たいわんいたちしだ** (*Dryopteris constantissima* Hayata)　本種ハ臺灣ニ於テ發見サレタモノデアルガ、私ハコレヲ昨年、長門國萩市附近ノ笠山デ採集シタ。附近ニハかうざきしだ、たましだ、いしかぐま等ノ暖地性羊齒類、こたにわたり(極稀)ノ北方性羊齒類ガ混生シテヰル。其ノ他、はまびは、かかつがゆ、たちばな、したきさう、ばりばりのき、なしかづら、きだちにんどう、しまかんぎく、ふうとうかづら等ノ暖地性植物ガ繁生シテヰル。

54) **たきみしだ** (*Antrophyum obovatum* Baker)　本種ハ本州、四國、九州地方ニ極ク稀ニ自生ヲ見ル珍シイ小羊齒植物デアル。此度コレガ三河國南設樂郡東鄉村瀧川ニ於テ、地方植物ノ研究者鳥居喜一氏ニヨリ發見サレタ。其他同鄉ノ社ノ森等ニハうらぼしのこぎ

りしだ、おにかなわらび、ひめさじらん、あまくさしだ、おほばのはちぢやうしだ、いはひとで、くもらん、かやらん、ふうらん、まめづたらん、むぎらん、せんりやう等ガ生ジテキル。

55) **みやましいがしら** (*Struthiopteris castanea* NAKAI) 本種ニツイテハ再度ニ亘リ書イタガ、私ハ昨年八月越前國部子山ニ登山ノ節、山頂附近デ五、六株ヲ採集シタ。然シコノ山トシテハ極ク稀ニシカ產シナイモノノ一ツデアル。尙コノ山ニハのうごいちご、まひづるさう、しもつけさう、まるばだけぶき、いぶきとらのを、もみぢからまつ、みやまからまつ、さんかえふ、みやまおとぎり、みやますずめのひえ、おほばきすみれ、おほばみぞほほづき、やぐるまさう、みやまあきのきりんさう、ぜんていくわ、きをん、うらじろいかりさう、くるまばはぐま、くがいさう、ひとつばよもぎ、からまつさう、おにしもつけ、おほばしょりま等ノ草本類ガ繁生シテキル。

56) **みつみねもみ** (*Abies homolepis* SIEB. et ZUCC. var. *umbellata* WILSON) 本植物ハ本州ノ武藏、甲斐地方、飛驒高地等ニアルコトガ知ラレテキル。去日東大農學部ノ猪熊先生ニ、三河國段戶山方面ニ本植物ノ多ク產スルコトヲ教ヘラレタガ、此度コレガ段戶山ヨリ遙ニ南方ノ同國本宮山 (789 m) ニモアルコトガワカツタ。尙北米產ノ外來草本タルだんどほろぎくハ最初段戶山ニ發見サレタガ、其ノ後三河國ニ於ケル產地ハ本宮山、石巻山等デアルガ、ドンドン繁殖シツツアル現狀デアル。

57) **やはずはんのき** (*Alnus Matsumurae* CALLIER) 越前國部子山 (1465 m) ノ山頂附近ニ於テちしまざさニ混生シ少量ノ自生ヲ見ル。分布上ノ一限ヲナスカ。コノ外同屬ノみやまかはらはんのき(日本海方面要素)モ稀ニ生ジテキル。すぎモ自生シ、見事ナ伏條形ヲナシ同一株ニテ十數間ニ亘ツテ繁生シテキルノガ見ラレル。人呼ンデ千本杉トイフ。其他いちゐ、だけかんば、をひょう、からすしきみ、こばななかまど、こめつつじ、くろづる等モ見ラレル。

58) **いはしで** (*Carpinus Turczaninovii* HANCE) 本種ハ本州ニ於テハ備中國等ニ產スルコトガ知ラレテキルガ、亦備後國芦品郡藤尾村附近一帶ノ國有林ノ岩上ニモ生ジテキル。稍群生シ大ナルモノハ胸高直徑 12 cm 位、樹高 10 m 位デアル。附近ニハやまとれんげう、つくしとねりこ、いはつくばね、おほみづなら、きくがらくさ、うれんみやこざさ等ガ見ラレル。尙本種ハ伯耆大山ニモアル。自生地ハ裏下山道デ正面道ニハ見當ラナイ。

59) **こばのてうせんえのき** (*Celtis Leveillei* NAKAI) 本種ハ支那、朝鮮、對島、九州方面ニ廣ク分布シテキルガ、亦中國地方、近畿地方ノ一部ニモ自生ガアル。私ノ採集シタ範圍内デノ北限ハ丹後ノ大江山附近(日本海側)、播磨ノ姫路附近ノ東山國有林(瀨戶內海側)トデアル。近畿、中國兩地方中、最モ本種ノ多ク見當ルノハ備前國加茂山附近ト備後國芦品郡地方トデアルガ大木ハナク、大ナルモノデモ小喬木位ノモノデアル。一變種ちうごくえのきハ備後國芦品郡山地ニ極ク稀ニ見ラレル。尙先ニ述ベタ(其二)くわんさいえのきヲ其ノ後紀伊國高野山ニ於テモ採集シタ。

60) **けしろもじ** (*Parabenzoin trilobum* NAKAI var. *pilosum* (KOIDZ.) HONDA) 本變

種ハ近江國ニハ多イ。犬上郡八尾山、高島郡大溝町附近ノ山等ニアルしろもじノ大部分ハコレニ相當スルモノデアル。又一木ガしろもじノ樣ニ葉ガ全然裂開セズ全邊ヲナシ、アタカモあぶらちゃんノ樣ナ形態ヲナスモノモアル。尙八尾山ニハつちあけび、くるまばはぐま、おほばちどめぐさ、いはうちは、おほはんげ、ひば、にしきはぎ、けはねみゝぬえんじゅ、みやまふぢき、ちゃぼがや、はひいぬがや、おほずみ、ならがしは、あかもの等ガ生ジテキル。あかものハ近江ノ國ニ於テハ各所デ、ホトンド平地ニ近イ樣ナ低イ所ニ生ジテキル。特ニ多イノハ伊吹山麓附近一帶ノ小山、能登川附近ノ小山等デアル。

61) **べにのりうつぎ** (*Hydrangea paniculata* SIEB. f. *rosea* MAKINO) 本植物ハ近江國デハ點々、處々ニアルノヲ見ルガ、特ニ大津市ノ背山一帶ニハ多イ。其ノ色彩ハ木ニヨツテ濃淡ガアル。附近ニハめいげつさうモ多ク生ジ美シイ。尙大津背山デ見タ植物中稍注目スベキモノハこばのからすざんせう、むしかり、りんぼく、たまみづき、かなくぎのき、しろばひ、ひめこまつ、やまどりしだ、かきのはぐさ、はんくゎいさう、たうささくさ、ぬまだいこん、はなめうが等デアツタ。

62) **はまなたまめ** (*Canavalia lineata* A. P. DE CANDOLLE) 三河國渥美半島ノ先端ニ自生ガアル。コノ外附近一帶ニハ、はまをもと、はまさじ、はぎくさう、はまうど、はまあざみ、ふうとうかづら、はすのはかづら、みづぎく、はまばう、はまひさかき、さかきかづら、おほばまさき等ガ生ジテキル。

63) **くろばなきはぎ** (*Lespedeza melanantha* NAKAI) 本種ハ朝鮮半島ノ西南部地方ニ分布ヲミルモノデアルガ、三河國北設樂郡川合川ノ河岸地區ニモ自生ガアルコトガワカツタ。卽チ三河國新城町ノ鳥居喜一氏ガ採集サレタ標本ヲ中井博士ニ鑑定シテ戴イタ結果本種ト判然シタ。コノ標本ハ東大ニ寄附シテ貰ツタ。自生地ニ於テハ可成リ群生シ樹高モ 2 m 餘ニナツテキルトイフ。私モコノ地ニハ三回程採集ニ行ツタガ、イヅレモ冬ノ時季デアツタ關係上採集出來ナカツタ。又コノ川沿ニハほそばしゃくなげ（えんしうしゃくなげ）ガ多ク生ジ有名デアル。コノ川合附近ニ產スル主ナル植物ハ先ニ述ベタガ再ビ云ヘバ、かぎかづら、ばりばりのき、ときはがき、くろそよご、やまいばら、たまみづき、おほばくまやなぎ、やまぐるま、えんしうしゃくなげ、びろうどのりうつぎ、ひかげつゝじ、いはなんてん、いひぎり、まつばらん、こがねしのぶ、みやまのこぎりしだ、きじのをしだ、おほきじのをしだ、はなぜきしゃう、をさしだ、まめづたらん、むぎらん、みやまむぎらん、うてうらん等デアル。

64) **つげ** (*Buxus japonica* MÜLL. ARG.) 愛知縣以西ノ本州ニ於テ私ノ採集シタつげノ主ナル產地ハ三河國八名郡甚古山一帶、三河本宮山、伊勢朝熊山、近江國八尾山、越前國部子山、大和大臺ケ原山、和泉金剛山、播磨、船坂、久崎等、備前、美作、備中各地、備後帝釋峽附近、周防滑山等デ、コノウチ最モ多產シ、大木ヲ產スルトコロハ三河甚古山デアル。コノウチ大臺ケ原山ノモノハ牧野先生ノ云ハレルこめつげデアル。越前ノ部子山ノモノモこめつげデハナカラウカト思ハレル。尙播磨、備前、美作、備中、備後等ニ產スルモノハこつげト思ハレル。周防滑山ノモノハつげデアル。

65) **おほばうめもどき** (*Ilex Nemotoi* MAKINO) 本種ハ羽前、岩代、越後、信濃、飛驒、美濃、美作、其他ニ産スルコトガ知ラレテキルガ、私ハコレヲ先ニ越前國敦賀附近デ採集シ、昨年又近江國高島郡蛇川山ノ水濕地デ採集シタ。附近ニハこぶし、けしろもじ、やまどりぜんまい、たにへご等ガ生ジテキル。尙本種ハ尾張國瀨戸市附近ノ山ニモ稀ニ自生ガアル。

66) **おほばつるまさき** (*Euonymus Fortunei* HANDEL-MAZZETII var. *vegeta* REHD.) 私ノ故鄕三河國玉川地區ノまだけ林中ニ少數ノ自生ヲ見ル。以前ヨリコノ植物ニツイテハ疑問ヲ持ツテ眺メテキタガ此度大家ノ鑑定ヲ得テ確メルコトガ出來タ。尙附近ニハからたちばな、しろみのまんりゃう等ガ自生シテキル。

67) **いはうめづる** (*Celastrus flagellaris* RUPRECHT) 本種ハ本州中部地方カラ近畿、中國、九州、濟州島、朝鮮、滿洲等ニ分布スルコトガ知ラレテキル。私ハ近畿地方ニ於テハ伊勢鈴鹿山脈、近江伊吹山、山城鞍馬、貴船山、播磨三濃山、雪彥山等デ採集シタ。中國地方デハ脊陵山脈ニ稀ニ自生ガアル（美作、安藝、周防等)。

68) **てつかへで** (*Acer nipponicum* HARA) 本種ハ本州カラ四國、九州ニ亘リ分布ヲミルモノデアル。越中（特ニ黑部奥谷)、飛驒方面デハ所ニヨリ多ク見ラレル。私ハ昨年安藝國佐伯郡惠下谷山國有林ノ標高 700 m 邊ニ於テ、胸高直徑 30 cm 餘ノ、本種トシテハ可成リ大キナモノヲ數本見出シタ。中國地方トシテハ珍シイ存在デアル。附近ニハめぐすりのき、えんこうかへで、みつでかへで等ノかへで類ガ生ジテキル。又コノ附近ハ關西地方ニ於テハ高野山ニ次デかうやまきノ多イ所デアル。

69) **やまびは** (*Meliosma rigida* SIEB. et ZUCC.) 本種ハ本州（遠江、伊勢、紀伊)、四國、九州、種子島、琉球、臺灣、支那、等ニ分布スルコトガ知ラレテキル。私ハコレヲ周防岩國城山ト淡路島トニ於テ採集シタ。

70) **こばんもち** (*Elaeocarpus Kobanmochi* KOIDZ.) 本種ハ本州紀伊、和泉等カラ臺灣、支那方面ニ迄分布ヲミルモノデアル。私ハ中國地方ニ於テハ周防岩國城山ト安藝宮島トデ採集シタ。岩國城山ニハ胸高直徑 70 cm 位ノ大木ガアル。宮島ニハ灌木狀ノモノガ數本アルニ過ギナイ。又城山ニハくすどいげノ徑級 30 cm 餘リノモノガ二、三本アル。本州ニ於テハコノ種トシテ最大ナルモノカト思ハレル。其ノ他おほつくばねがし、やまもがし、かんざぶらうのき、しひもち、かぎかづら、るりみのき、をがたまのき、うんぜんつゝじ、おほみつで、すずむしさう、おほかぐま等比較的ニ珍植物ガ多ク生ジテキル。

71) **おほばぼだいじゅ** (*Tillia Maximowicziana* SHIRASAWA) 本種ハ北海道カラ奥羽地方、關東西部地方迄分布ヲ見ルコトガ知ラレテキル。私ハコレヲ飛驒國及越中國デ採集シ、昨年ハコレヲ越前國部子山ノ中腹ニ於テ數本自生シテキルノヲ見出シタ。コノ外附近ニハきんきまめざくら、うらじろれんげつつじ、おほいたやめいげつ、むらさきやしほつつじ、きびのくろうめもどき、あさくらざんせう、うすぎえふらく、うらぎんななかまど、ひめもち、てつかへで、ひめあをき、えぞゆずりは、あかみのいぬつげ、さいこくみつばつつじ、おほずみ、おほばすのさ、しらいとさう、みやますみれ、みやまべにしだ等ガ生ジ

テキル。

72) **ありまぐみ** (*Elaeagnus Murakamiana* MAKINO) 本種ハ攝津國有馬地方デ初メテ發見サレタモノデ附近ノ六甲山彙ニモアル。又遠ク飛ンデ遠江國ノ各所ニ自生ヲ見ルトイフガ又コレハ三河國ノ八名郡カラ南設樂郡地方ニモ點々自生ガ見ラレル。コノ外三河地方ニ産スルぐみ類ハあきぐみ、まるばあきぐみ、はまるばあきぐみ、なはしろぐみ、おほばぐみ、つるぐみ等デアル。本種トハ何等關聯ガナイガ六甲山ガ出タカラツイデニ申スガ彼山ニハ稀ニさらさどうだんノ外ニべにさらさどうだんモ自生シテキル。

73) **なつあさどり** (*Elaeagnus Yoshinoi* MAKINO) 本種ハ中國地方特産ノ植物デ私ノ調査ノ結果ニヨレバ、北限ハ播摩國東部地區デアル。又但馬國ニモアル。南限ハ周防小郡附近カ。産量ノ最モ多イ所ハ私ノ見タ範圍内デハ安藝國ノ瀬戸内海寄リノ赤松林下デアル(西條町附近)。木ハ叢生スル性質ガアルガ最大ナルモノハ胸高直徑 6 cm、樹高 6 m 位デアル。

74) **しろばひ** (*Bobua lancifolia* SIEB. et ZUCC.) 本種ハ伊勢、近江カラ紀伊、大和、山城、淡路島、宮島、周防、四國、九州、屋久島、琉球等ニ分布ヲ見ル。近江國ニ於テハ大津市ノ背山ニ可成ノ繁生ヲ見ル。私ノ見タウチ本土ニ於テ最モ多ク生ジテキルノハ宮島デ大キナ谷ガホトンド本種ノミニヨツテ成立シテキル所ガアル。本土ノ最南ハ私ノ知ツテキル範圍内デハ、周防ノ滑山デアル。滑山ニハしひもちモアリ又よこぐらのきモ點生シテキル。

75) **ちしゃのき** (*Ehretia thyrsiflora* NAKAI) 本種ハ中國、四國地方カラ遠ク支那方面ニ迄分布ヲ見ル。私ハ昨年コレヲ備後福山南部ノ小山、美作本山寺附近ノ山、周防滑山附近等デ採集シタガ中國地方ニハ各地ニアルラシイ。滑山附近ノ川岸ニ於テハきしつつじノ群落ノ中ニあさがら、おほばあさがら等ト共ニ林立シテキルノガ見ラレル。

76) **ちゃうじがまずみ** (*Viburnum Carlesii* HEMS. var. *bitchuense* NAKAI) 本土ニ於テハ備中國等ニ産スルコトガ知ラレテキル。私ハ此度備後國芦品郡地方及周防國寂地山ニテ採集シタ。寂地山ニハこばちノ大木多ク、又ふうりんうめもどき、くろたきかづら、はすのはいちご、つるがしは、さるめんえびね、たいみんがさ等ガ生ジテキル。

77) **おにおほのあざみ** (*Cirsium diabolicum* KITAMURA) 私ハ本種ヲ越中國清水岳、白馬山彙、立山山彙、加賀白山等デ採集シタガ、昨年越前國部子山頂上附近ニ於テモ採集シタ。尚同科ノ北方要素タルあさぎりさうヲ針ノ木岳ノ黒部側デ多數採集シタ。

78) **にしのかぐらざさ** (*Sasa sandangorgiana* KOIDZ.) 本種ハ筆者ガ安藝國三段峽デ發見シタモノデアルガ、當地ニ於テハ一局部ニ群生シテキル。尚本州中部ノ一部、近畿及中國地方ニ於テ私ノ採集シタ篠科植物中、新産地ト思ハレルモノ、或ハ分布上珍シイト思ハレルモノハ次ノ樣ナモノデアル（前號記載ノ分ハ省略ス）。括弧内ハソノ採集産地デアル。あいぬみやこざさ（越中黒部峽）、なんぶねまがり（越中清水岳）、ではおほばちまき（飛驒高山）、おほざさ（山城大悲山）、おほおろしまちく（丹後腰ヶ濱、備前、加茂山）、きぶねねざさ（丹後腰ヶ濱、備後藤尾林）、かんさいささ（山城愛宕山）、あきはざさ（近江八

尾山)、あをちしまざさ(丹後吉富村)、ほくえつざさ(丹後淺谷山)、ちしまざさ(丹後淺谷山)、おほばちまき(丹波芦生)、きしらすず(備後藤尾林)、みやこねざさ(丹波、備中、備後、備前、安藝等)、やはらしの(越前、若狹、備前、美作等)、おくみやこざさ(備後、藤尾林及帝釋峽)、ながとざさ(周防滑山)、ちょうかいちまき(安藝三段峽)、しゃこはんちく(周防滑山)、ひろはやねふきざさ(安藝三段峽及大土山)、おろしまちく(備前鹿久居島)、あふさかしの(安藝大土山)、ちゃうじやねざさ(丹後加悦、安藝久地村、備後神ノ島、長門小野村)、きぼしの(安藝久地村)、かっぱしの(安藝來原村)、いはてざさ(備後向原大土山)、うれんみやこざさ(備後芦品郡藤尾村)、おにぐじゃうしの(安藝來原村)、びっちゅうみやこざさ(安藝來原村)等デアル。

79) **むかでらん** (*Sarcanthus scoropendrifolius* MAKINO) 本種ヲ豊橋市ノ恒川敏雄氏ガ渥美半島ノ龜山デ採集シタ。尙附近ノ山ニハこくらん、みやまうづら等ガアル。越戸ノ大山ニハ、うばめがしノ大木多ク稀ニさかきかづらノ纒繞スルヲミル。山頂 (328 m) 附近ニハひさかきニ着生シタひのきばやどりぎ多ク(時ニあさまつげニ寄生ス)、又いぶきじゃかうさうモ自生シテキル。

80) **おほばめぎ** (*Berberis Tschonoskiana* REGEL) 本種ハ本州ノ關東地方カラ四國、九州等ニ亘リ分布ヲ見ルモノデアル。私ハコレヲ大和國、紀伊國ニマタガル紀伊山脈一帶ノ地、及ビ中國地方ノ備中、美作、備前、安藝等デ採集シタ。安藝國ノ三次町附近ノ山地ニハ稍多ク産スル。　(昭和 16 年 3 月 31 日農林省山林局ニテ識ス)

○けまんさうノ學名ト其朝鮮ニ於ケル産地　(中井猛之進)

T. NAKAI: The most legitimate name for *Dicentra spectabilis* against nomen conservandum; and its wild growth in Korea.

けまんさうノ學名トシテ近頃 *Dicentra spectabilis* LEMAINE ヲ用キル。其ハ CH. LEMAINE 氏ガ VAN HOUTTE 氏監修ノ Flore des Serres et Jardins du l'Europe (歐洲ノ溫室花壇ノ花) 第 III 卷第 258 頁 (弘化 4 年、1847 年版) ニけまんさうヲ圖解シタトキニ出タ名デアル (圖參照)、松村先生ノ植物名鑑ニ *Dicentra spectabilis* MIQ. ト恰モ MIQUEL 氏ガ命名者デアルカノ樣ニ出テ居ルノハ誤デアル。種名ノ *spectabilis* ノ出典ヲ取調ベル中意外ニモ最古ノ出典トサレテ居タモノガ最古デナカツタリ、屬名モ *Dicentra* ガ正シクナカツタリスルコトガ判明シタカラ以下其次第ヲ舒述シテ見ヨウ。

けまんさうニ始メテ學名ヲ附ケタノハ LINNÆUS 氏ダガ其一番最初ハ Systema Naturæ 第 10 版第 2 卷第 1153 頁 (寶曆 9 年版ト 10 年版卽チ 1759 年版ト 1760 年版トアル) ニ *Fumaria spectabil.* (*spectabil.* ハ *spectabilis* ノ略) ト出テ居ル。其レカラ 10 年後卽チ明和 6 年、1769 年ニ Amoenitates Academicæ 第 7 卷第 457 頁ニ同ジ名デ記載シ第 7 圖ニ圖解シタ。之ヲ AUG. PYRAMO DE CANDOLLE 氏ガ其著書デアル Regni Vegetabilis Systema Naturale (植物界ノ自然系) 第 2 卷 110 頁ニ引用シタタメ其後ノ學者